

ベランダ de キエー口 実証実験分析結果

毛呂山町 生活環境課

表1 平均土壌温度と分解日数

投入日	平均土壌温度 (°C)	分解日数 (日)
5月17日	23.3	4
5月24日	29.5	4
6月9日	32.2	7
7月8日	30.8	5
8月24日	41.7	6
9月7日	33.0	4

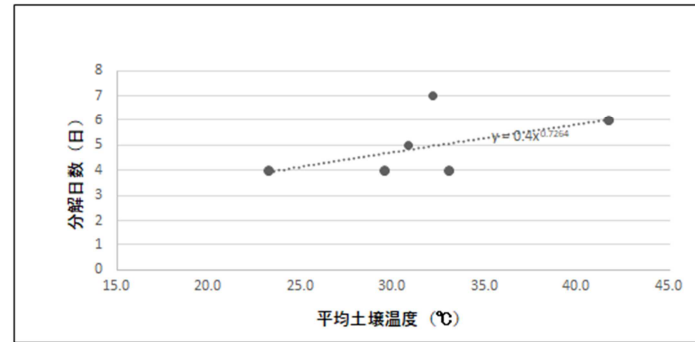


図1 平均土壌温度と分解日数

【結果】

生ごみの適正投入量と言われている 500g を基準として投入量 400g ~600g のデータを抽出し、生ごみが消えるまでの平均土壌温度と分解日数の関係を表1、図1に表した。予想と反して土壌温度が上昇すると、分解日数が上昇する結果となった。

【考察】

土壌温度が上昇すると、分解日数が上昇する結果となったが、データ数が少なく正確な結果では無いと考える。実験方法等を見直しながら、今後データ数を増やしていきたい。

表 2 最高土壌温度と平均気温

投入日	最高土壌温度 (°C)	平均気温 (°C)
5月17日	24.0	18.0
5月24日	34.0	21.0
6月9日	36.0	23.6
6月14日	34.0	23.6
6月24日	33.0	24.5
7月8日	34.0	24.1
7月9日	35.0	24.1
7月14日	36.0	29.2
8月4日	40.0	29.1
8月4日	40.0	29.1
8月18日	40.0	26.4
8月24日	50.0	29.8
9月7日	39.0	23.5
9月16日	39.0	24.4

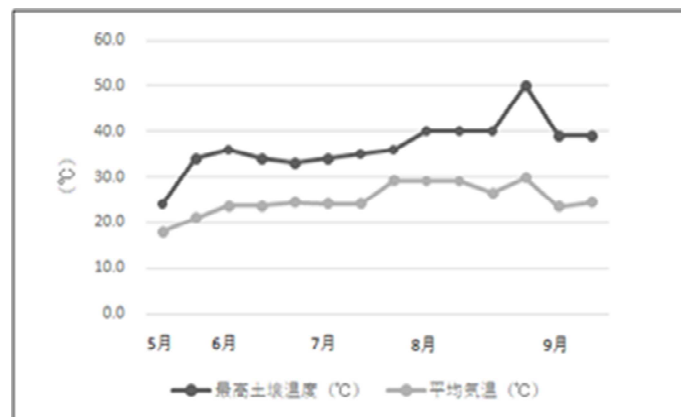


図 2 最高土壌温度と平均気温

【結果】

生ごみが消えるまでの平均土壌温度と平均気温の関係を表 2、図 2 に表した。平均気温が上昇するにしたがって、最高土壌温度も上昇した。

【考察】

全体的に気温より 10°C 程度高い土壌温度であったが、8 月末頃から、気温に対し土壌温度が高くなっている。生ごみを入れ始めて 4 ヶ月でバクテリアが増え始めたのではないかと考える。